



## 佐世保市立大野中学校

所在地：佐世保市松瀬町 838 番地

校長名：宮原 龍美

生徒数：657 名（19 学級）

校 訓：「至誠をもって生涯を貫こう」

### 1 特色ある学校づくりに対する基本姿勢

本校は、これまで生徒の心の教育や道德実践力の育成を図るため、各教科や日々の教育活動の充実、教育環境の整備を行ってきた。今年度は「大きな志と真心を持ち のびる生徒の育成」と学校教育目標を改訂し、新たな伝統を築く第一歩となるべく、次の視点で特色ある学校づくりを進めた。

- (1) のびる知性
- (2) のびる徳性
- (3) のびる体力・自信
- (4) 開かれた学校づくり



### 2 実践内容

#### (1) のびる知性

##### ①授業改善研究

「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を目指した、新しい学習指導要領に基づいた教育課程が実施されるなか、教師自身の授業スタイルの見直しを図るための授業改善研究を 2 か年にわたり実施した。「学習形態の工夫」「掲示教育等の授業環境」「学習規律の徹底」に焦点を絞り、「学びの空間」と位置づけ、それぞれに研究を重ね、「生徒の授業における達成度を自覚させること」「思考力・判断力・表現力を高めること」「生徒自身の自己肯定感を高めること」などをめざす「大野中学びのスタイル」を確立した。その成果は、研究発表会として約 130 名の先生方、地域の皆さんにご参加いただくなか、11 月に実施し、評価をいただいた。

研究発表会以降も、「大野中学びのスタイル」については継続し、掲示物の工夫などもあわせて、子ども達の思考力、判断力、表現力の育成に努めている。



## ②ノーチャイムの実施

時間を意識し、自ら考え、行動できる生徒を育成するために、すべての各教室・廊下の時計を、時間の狂いが少ない電波時計に変えた。この取り組みにより、子ども達自身の、活動に対する自主的な意識が芽生え、積極的な取り組みが目立つようになった。

## ③人権・平和への意識の向上

本校では、平成8年4月に痛ましい事件が起き、そのことを教訓として「いのちを考え、大切にす」ために「あすなろタイム」を設定し学習を行っている。

今年度は、4月23日のPTA総会を兼ねた授業参観日を「あすなろの日」と設定し、「一斉道徳」の授業公開を行ったのを皮切りに、人のいのち、人間固有の権利について、年間を通して考えていく活動を展開した。

6月29日の平和集会では、講師を招聘し、佐世保空襲の体験談を語っていただくことで、子どもたちに、平和の尊さを訴えていただいた。

8月9日の平和集会では、平和集会実行委員会を中心に、戦争の悲惨さ・原爆の恐ろしさについて、まとめたことをスライド等を用いて発表し、全校で平和の大切さについて改めて考えた。

12月には、数回にわたり人権学習を行い、携帯電話などのネット上でのいじめなどについて学び、自分の行動と照らし合わせて考え、各学級ごとに人権宣言を行い、いじめは絶対にしない、という強い意思を互いに高めあった。



## (2) のびる徳性

### ①校外における体験活動の充実

#### 第1学年：野外宿泊学習

平成25年7月10日～12日の3日間で実施した。新しい友人関係を築き、その後、3年間の中学校生活を充実したものにしてほしいという願いもあり、活動の中に「構成的グループエンカウンター」を織り交ぜ、心の安定を図った。生徒たちはリーダーとして班や学級を引っ張る生徒の姿や、時間を守ったり、ルールを守り班全体で行動することの大切さを考えるなど、意義ある学習となった。





## 第2学年：修学旅行

平成25年9月18日から20日の2泊3日、京都・大阪方面への修学旅行を実施した。歴史あふれる京都の学習と、大阪城の見学、北九州の工場見学などに取り組んだ。天候にも恵まれ、学校でできない体験学習を、実際の見聞を交えて、大変有意義に取り組むことができた。学んだ成果を、これからの生活に生かしていくことができるものと確信している。

## 第3学年：職場体験学習

平成25年9月25日から27日までの3日間、市内55事業所において、職場体験学習を実施した。職業や勤労に対して関心を持ち、望ましい職業観を身につけるとともに、将来の生き方、あり方を模索するきっかけとし、今後の進路意識を高めさせることや、ともに生きる心や感謝の心を育むとともに、望ましい人間関係を確立することを目的に実施した。事業所ではのびのびと活動し、自分の将来の生き方を考えることのできる3日間になった。また、不登校ぎみの生徒も参加することができ、これからの進路指導や高校受験にも生かせるものとなった。



## (3) のびる体力と自信

### ①体力の向上

5月の開催となった体育大会では、1,000名を超える応援のもと、積極的な活動を見せた。特に男子の組体操、女子のダンスに地域・保護者の盛り上がりは最高潮に達した。

佐世保市中学校体育大会では、堂々とした行進に、選手・応援の生徒の心が一つになり、大会を盛り上げた。バレーボール男子が3連覇、陸上競技女子総合8連覇など、生徒たちの活躍が光った。

また、県中総体でも活躍し、水泳、体操、空手などで九州大会に出場した。



### ②健康教育の充実

今年度の重点項目として、歯科保健の充実を図った。年間2回に渡り、歯科校医の先生から講話をいただき、歯の健康の大切を訴えていただいた。

生徒の歯磨きに対する意識は日に日に向上し、佐世保市学校保健会より努力賞の表彰を受けた。

### ③生徒会活動の充実

基本的な生活習慣の育成と定着を図るため、生徒会の活動として「遅刻0の日、150日」を目指している。また、あいさつ運動コンテストなど、生徒の意識向上のために、積極的な活動に心がけている。生徒の自治的活動を意図した生徒会活動や部活動を通して、過ごしやすい学校づくりと逞しい体づくりに努め、活力ある学校づくりを図った。



### (4) 開かれた学校づくり

#### ①地域行事への積極的な参加

健全育成会主催のワークショップには、生徒会のリーダーを中心に、小学生とともに地域の活性化に向けた討論会を実施している。今年度も、20名の生徒が、近隣の小学生とともに、ワークショップを行った。

また、むかし遊びのつどいには、約80名の生徒が参加し、地域の大人と交流を持つことで、幅広い視野をもつことができた。

#### ②PTA、おやじの会との連携

育本校のPTA・おやじの会の活動は活発であり、子どもたちのために、日々何ができるかを追求し、活動をしていただいている。特に長距離歩行大会と餅つきは、例年盛況であり、子どもたちの体力の増進と、心の成長を促している。

